

# 平成19年度 地域ケアプラザ事業報告書

## 1 施設名

横浜市宮崎地域ケアプラザ

## 2 事業報告

### (1) 施設の適正な管理について

#### ア 施設の維持管理について

- ・ 指定管理者として、公の施設を公正・公平に管理いたしました。
- ・ コンプライアンスを重視し、常に快適な施設を目指し、運営の迅速、効率化を心がけた上で、安全で快適な地域ケアプラザとして運営いたしました。
- ・ 空調設備、消防設備、エレベーター等の定期点検はもちろん、施設・設備のメンテナンスに配慮し、備品管理、清掃、閉館時の警備、周辺植栽管理、そして、G30の推進を目指しました。

#### イ 効率的な運営への取組について

- ・ ケアプランの作成、デイサービスへの受入れなど、迅速かつ充実した内容のサービスが提供できるよう努めました。それを的確に給付管理に反映させていきました。
- ・ 総合相談業務については、関係機関との連携を強化し、速やかな問題解決を心がけ、サービス提供いたしました。
- ・ 各スタッフ間の連絡も強化を図り、情報を共有させることで、各セクションの業務に活かしていきました。
- ・ 帳票を初めとして事務ツールの改善、誰でもが利用しやすいファイルシステムの実現を図りました。
- ・ 所内の会議の効率化、情報の共有化を推進し、無駄のない運営を心がけました。

#### ウ 苦情受付体制について

- ・ スタッフが利用者の相談を適切に対応できるよう、職員研修を実施しました。意見を言いやすい環境づくりや、誰でも苦情や意見を述べやすいように、窓口（苦情相談窓口、ご意見箱、HPでの受付など）の充実を図りました。
- ・ 「苦情相談対応マニュアル」に沿って、苦情受付担当者、苦情解決責任者を設置し、受付体制を運用しました。
- ・ 法人として、公正・中立な立場から[第三者委員会]を設け、適切な運営に努めました。

#### エ 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

- ・ 夜間はセキュリティシステムが稼働しています。
- ・ 「事故防止マニュアル」、「事故等緊急時の対応マニュアル」に沿って、万が一の事故に発生に継続して備えました。
- ・ 災害時特別避難場所としての役割を認識し、災害時の備蓄物資を整備し、適正に保管しています。
- ・ 緊急連絡網を定期的に更新し、活用できるようにしました。

#### オ 事故防止への取組について

- ・朝夕のミーティングやスタッフ会議にて、注意を喚起し、事故の未然の防止に真剣に取り組めました。介護サービスの提供中のヒヤリとしたことやハツとしたことの事例等の原因究明、反省を重ねてました。
- ・通知・連絡文書等さまざまな書類を分類・整理して回覧した後、ファイリングすることで、職員間での情報共有に努めました。

#### カ 情報公開への取組について

- ・神奈川県介護サービス情報の公表の指定調査に積極的に応じました。
- ・「開かれた施設」を基本姿勢とし、積極的に情報を公開することに努めました。
- ・施設の広報紙・ホームページなどを活用し、最新の情報に更新して積極的に公表してきました。

#### キ 環境等への配慮及び取組について

- ・横浜G30プランに基づき、ゴミの減量化、再資源化に努めました。
- ・使用していない部屋の照明をこまめに消し、暖房・冷房の季節には、適切な室温を維持して、節電・節水を心がけ、省エネルギー対策に取り組めました。その一環として、本年度、節水システムを導入し、水の使用削減に努めました。
- ・全館禁煙です。
- ・施設の緑化には、地域のボランティアの協力をいただき、春・秋の植栽剪定を行い花壇の維持管理を行っています。

### (2) 職員配置・育成について

#### ア 職員体制について

- ・適材適所の配置をし、職場の活性化を推進しました。
- ・各事業において、資格要件等の職員配置基準を満たした配置を維持しました。

#### イ 職員の研修計画について

- ・年初に計画した年間研修計画により、更なるサービス提供を目指して、職員の定期的な研修を実施しました。
- ・職員は、計画的に法人及び施設内の定期研修のほか、外部の各研修に職種毎に積極的に参加し、専門的な技術・技能・資格を取得できるよう努め、全員が、地域ケアプラザ職員としての対応サービス等の研修をしてきました。
- ・常勤・非常勤を問わず、新任職員には、一層の戦力となるようOJTにより関係職員が指導しました。

#### ウ 個人情報保護の体制及び取組について

- ・「横浜市個人情報の保護に関する条例」等に基づき、個人情報の保護に努めておりましたが、残念ながら、2件の誤送付を起こしてしまいました。
- ・個人情報の誤送付、誤送信の防止を徹底し、個人情報の漏洩の起こらないシステムの見直しを図りました。
- ・公の施設であり、指定管理者制度の施設であることを、常勤・非常勤職員全員が認識して、個人情報保護の研修を終了して、その趣旨で行動することを徹底し、個人情報保護に関する誓約書に署名しています。
- ・個人ファイル等はすべて書庫に施錠して保管管理し、不要になった場合はシュレッダーを使用して破棄しています。

### (3) 事業内容

#### ア 関係機関との連携について

- ・ 公の施設として、西区役所の担当部署との連携を努めました。
- ・ 地域ケアプラザだけでは、解決が出来ない処遇困難ケース等は、区役所・医療機関・介護サービス事業者・地域の様々な団体・組織との連携を図りました。
- ・ 地域福祉の推進に向け、西区社会福祉協議会等との連携・協働に努めました。

#### イ 施設や自主事業に関する広報・PRへの取り組みについて

- ・ 年6回の広報紙やチラシなどは、回覧やふれあい掲示板、町会掲示板へ、また、町会活動の滞っている町会などは町内会連合会会長と連絡を取るなどして、ケアプラザ自ら掲示を行っています。
- ・ 地域の各種団体の定例会や直接、会長宅に出向くなどして、ケアプラザ自主事業参加者、貸室利用団体へご協力の依頼や情報提供を行っています。
- ・ HPの画面の更新を適宜行い、時季に応じた諸行事の紹介も行っています。
- ・ そのほか、ケアプラザの使命・目的を知っていただき利用していただくための啓発講座を、地域住民向けに行いました。

#### ウ 地域ネットワークの構築について

- ・ 担当地区ごとの福祉保健ネットワークを構築する予定でしたが、地域住民より当ケアプラザとの十分な情報交換がなされ、共有もしているため、新たな構築は必要なしとのことで、本年度は見合わせました。
- ・ 地域の会食会やサロン活動の中で、レクリエーション・ボランティアやミニ講座などを何処に依頼したらいいかとの意見があり、ボランティア団体リストを作成しました。また、ミニ講座では地域包括支援センターの機能を紹介する活動へとつなげました。

#### エ プラザの各機能を活用した、地域の福祉保健に関する拠点としての機能の発揮について

- ・ 地域あつてのケアプラザと考え、地域団体との連携を重視してきました。特に町内会役員や民生委員、老人会役員等からは、日頃から地域のニーズや課題を提供していただき、問題ケースの早期発見を目指しました。
- ・ 地域団体の会合に積極的に参加することで、地域の状況を把握すると同時に、制度や地域ケアプラザのPRを行い、情報交換をしながら連携して、地域における「高齢者支援事業」や「子育て支援事業」に取り組めました。

#### オ プラザ内の各部門間の情報共有の方法、連携等について

- ・ 全体においては、職員会議等で情報共有しました。
- ・ 各部門間においても、必要に応じて関係セクションに必要な情報を適宜、伝達し、問題解決につなげました。地域情報についても、施設内での共有に努め、対応しました。
- ・ デイサービス事業では、朝・夕のミーティングにより、介護情報等の共有に努め、きめ細やかなサービスを提供できるように努めました。

## ● 地域活動・交流事業

### ア 地域の現状（課題）及び、これに対する施設の基本的な取り組み

- ・ 地区別担当者会議などにおいて、区・西区社会福祉協議会とともにデータを集め、地区担当者が地域全体の高齢化への認識をより深め、共通意識を持ちながら、次年度への連携活動の足固めをしてきました。高齢者への支援・ネットワーク作りへの具体的な第1回目の取り組みとして、キャラバンメイトを講師に迎え、3月に地域住民と認知症へ啓発講座を行いました。
- ・ マンション世帯の急増により、乳幼児世帯が増えています。そこで、「0歳児親子」と「プレママ」に向けての新規事業の立上げを準備しました。乳幼児親子のコミュニケーションの場を提供、親子の引きこもりや育児への不安や悩みを抱え込まない環境を提供しました。1歳児からの事業も継続しつつ、子育て支援を拡大し、西区こども家庭支援担当との連携により、子育て支援・相談を充実させていきました。
- ・ 町会組織以外のインフォーマルサービスのない地域でしたが、地域の声を聞き、形にしていくことを心がけ、様々なインフォーマルサービスを立上げる活動の支援を行い、地域の各種行事へのコーディネートを行いました。

### イ 地域や地域住民との交流・連携の取り組みについて

- ・ 地区連合町内会ほか、様々な地域の団体の定例会や活動の場に参加し、地域の情報交換を行いました。
- ・ 西区には、0歳児～3歳児を対象にしたおはなし会のボランティアグループがありませんでしたが、地域の子育て支援の場からボランティアグループ立上げの要請があり、講座を開催してボランティアグループ「ぽっ・ぽっ・ぽっ」を立上げました。
- ・ 地区の特性上(山坂、階段が多いなど)、一つの場所に高齢者が集うことが難しいため、小地区（2～3町内会合同）で会食会やサロンを地域で開催しています。そのため地域住民の要請や地域の情報で事前に入ってきた活動の場へは、地域包括支援センター職員と共に高齢者への様々な活動支援を行ってきて、本年度は地域の活動者からの口コミで依頼が入るようになりました。
- ・ 町会組織以外のインフォーマルサービス活動の継続、活性化のため様々な関係機関と調整・連携を行いました。支えあい連絡会から活動がスタートした地域安全・安心パトロールを行う「まもり隊」活動では、活動に関連している3小学校(戸部・西前・本町)と戸部警察署、交通安全協会、警察OB会、神奈川県安心安全まちづくり推進課との連携、第1地区の町内間での調整など行い、毎月まもり隊ふれあい情報通信を発行配布しています。これは、小学校や様々な情報を発信し活動の停滞を無くすための支援です。  
また、当ケアプラザ講座から誕生した男性の料理を手段としたボランティアグループ「Boy's キッチンワーカーズ」や「おはなし会ボランティアグループ ぽっぽっぽっ」の活動の支援を行い、地域の各種行事へのコーディネートを行い、活動へとつなげてきました。
- ・ 様々な地域の行事に、企画段階から参加させていただき、地域ケアプラザで支援できることを伝え、地域住民も活動に利用するようになっていきます。少しずつではありますが、ケアプラザの事業を理解して利用する地域住民が増えています。
- ・ 地域コミュニケーション講座において地域住民の要望があったAED講座を開催しました。

#### ウ 運営協議会の開催時期・議題について

第1回開催日 6月19日(火)14:00~15:00

出席者:運営委員 13名

議題:①役員選出 ②平成18年度事業報告 ③平成19年度事業計画 他

第2回開催日 11月22日(木)14:00~15:00

出席者:運営委員 15名

議題:平成19年度上半期事業報告 他

#### エ ボランティア育成、及び協働について

- ・ 当ケアプラザで開催した、ボランティア講座OBの方へ活動継続支援を行いました。
- ・ 地域子育て支援活動者からの要望を受け、0歳児~3歳児向けのおはなし会ボランティアを育成し、グループ立上げの支援を行いました。来年度より地域への子育て支援活動を行っていきます。
- ・ 地域でのボランティア・ニーズに対応できるよう、貸室団体に福祉保健活動の意識づけを行い、施設外での活動啓発、地域との交流の場を設けました。交流の場を開催するにあたり、貸室団体の方にも企画段階から参加をお願いし、運営も一緒に行いました。
- ・ 施設内の機能を用いて「中学生のボランティア講座」を開催し、実際にボランティア活動につなげました。
- ・ 男性料理集団「Boy's キッチンワーカーズ」では、自主事業のほか、中学生のボランティア講座(第5回目)や西区3ケアプラザ合同男性料理教室交流会を協働で行い、また、障害児余暇支援活動、宮崎まつり、地域への行事参加などへ福祉保健活動コーディネートを行ってきました。
- ・ 地域安全・安心パトロールを行う「まもり隊」活動は町会単位で活動を行っているため、町会単位のネットワーク化を支援しています。
- ・ 地域住民にケアプラザにボランティア・コーディネート機能があることがあまり知られていないため、啓発活動を行っています。

#### オ 貸し館の稼働率目標、及び利用促進策について

- ・ 平成18年度稼働率対比は、全体で4%増の稼働率となりました。しかし、ケアプラザ担当地区の外れにあるため、本来の目的である地域活動拠点の場としての利用は増えませんでした。毎年課題となっていますが、来年度も引続き、働きかけを行っていきます。

#### カ 地域活動・交流部門における自主事業の実施について

- ・ 自主事業の目的を明確にし、多様な媒体を用いて、地域住民へ周知し、多くの参加者を募りました。また、職員でも確認し事業を開催しています。
- ・ 地域の活動の場へ参加し、地域のニーズを把握し、自主事業「地域コミュニケーション講座」を展開しました。
- ・ 子育て支援事業は西区こども家庭支援担当と連携を図り、相談機能を充実させ、「食育」「口腔ケア」などケアプラザ側から子育てに関する啓発講座を展開しました。アンケート調査の結果から0歳児未満の活動の場のニーズがあり、来年度に向けて、自主事業としても計画していきます。
- ・ 地域住民同士の交流、異世代交流、貸室団体交流、ボランティア交流、宮崎まつりなど様々な交流のイベントを開催しました。情報交換を行う中で、福祉保健活動へつながっています。
- ・ 高齢者支援事業は介護予防を踏まえたプログラム内容を展開し、地域包括支援センター、通所支援事業、居宅介護支援事業の機能を利用し展開しています。

## キ 地域福祉（保健）計画地区別計画の推進への取り組みについて

※①～⑥は「西区地域福祉保健計画」の基本目標の6つの取り組みを示します。

- ・ ①『安全が確保され、安心なまち』と④『地域全体がつながりを持つまち』に合わせ、「まもり隊」活動の推進と連携の支援を行いました。
- ・ ②『活気にあふれ、健康なまち』に合わせ、「フラダンス」「ウクレレ」講座を展開しました。健康（心身ともに）の意識を高め、様々な世代の方が参加交流し、活躍できる場も作りました。
- ・ ③『一人ひとりの個性を認め合い、みんなが共存するまち』に合わせ、「PC講座」を開催。精神障害を持つ方を講師に迎え、同じ場所で、同じ活動を行うことで、精神障害者を知り、差別や偏見をなくし、ありのままの個人を受け入れてもらう活動ができました。その後も「PCサロン」へと活動がつながっています。
- ・ ⑤『子どもが健やかに成長できるまち』に合わせ、子育て支援事業で、様々な目標に取り組みました。懇談会で課題にもなりました「食育」については、啓発講座として展開しました
- ・ ⑥『必要な情報が正確に伝わるまち』に合わせ、ケアプラザ広報紙やチラシ（閲覧板・掲示板・直接手渡し）、また、様々な事業の場、地域の活動の場で必要な人に必要な情報が届くような仕組みづくりを行いました。

これらの目標にケアプラザとして取り組むことで、地域の身近な福祉保健活動の拠点として、地域住民に再認識していただきました。

## ● 地域包括支援センター事業

### ア 地域包括支援センターの役割の周知や活用に関する工夫について

- ・ 地域包括支援センターの役割について、周知活動のために、地域に出向きました。ふれあい会・地区社会福祉協議会などで開催された食事会やお茶会等のイベントで出張講座として、チラシやリーフレットなどの配布し、お話しする機会を得ました。
- ・ また、担当エリア内の開業医に訪問し、地域包括支援センターの役割について説明しました。

### イ 介護予防の推進や地域づくりのための具体的方策について

- ・ 地域に出向く機会を利用して、基本健康診査の受診推奨を行いました。また、血圧測定等を実施し、健康相談を行うこともできました。これにより、介護予防支援にもつなげることができました。
- ・ 地域づくりとして、地区別担当者会議や西区社会福祉協議会での高齢者分科会などに参加することで、地域ニーズの把握やマップ作りを行ってきました。
- ・ 10月の「宮崎まつり」で、地域の方々を対象に「体組成測定と保健指導」「介護・健康相談」等の企画展示を行いました。
- ・ 認知症キャラバンメイトによる「認知症サポーター養成講座」を開催しました。

### ウ 介護予防ケアマネジメント事業

平成19年度の宮崎ケアプラザ担当地区での実績

#### ① 要支援者について

介護予防サービス利用者数

要支援 1、2 . . . 110名（基準日；平成19年9月末）

要支援 1、2 . . . 111名（基準日；平成20年3月末）

\* 19年度の終了者 計 40名

内訳：（介護保険へ移行 29名、死亡 4名、利用なし 5名、転居 2名）

#### ② 特定高齢者について

特定高齢者利用者数

特定高齢者候補者数 . . . 40名

特定高齢者プラン作成 . . . 4名

（含む継続者 1名、中断者 2名、訪問型利用中 1名）

### エ 総合相談・支援事業

- ・ 地域の開かれた窓口をめざし、包括職員が土日を含め、必ず1名以上は出勤しているように勤務体制を組んで対応しました。
- ・ 独居（日中独居を含む）の方や介護認定を受けていながら、介護サービスを利用していない方、地域との関係が希薄な高齢者、民生委員や区役所職員から依頼を受けた方など、様々なケースの高齢者に助言・訪問を適宜行いました。  
（19年度 相談延件数 255件 訪問延件数 125件）

### オ 権利擁護事業（現状・被保険者への虐待防止・早期発見等）

- ・ 高齢者の虐待の恐れがあるケースには、担当者が一人で抱え込まないように、区役所、ケアマネ等関係機関と連携し、複数で情報を共有しながら対応しました。
- ・ 西区内の4ケアプラザの社会福祉士等が中心となり、「かもめ座」を立ち上げ、地域住民向けに、高齢者権利擁護（成年後見制度）をテーマとした寸劇を年2回、上演しました。

カ 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

- ・ 居宅介護支援事業所や医療機関へ書類等を配布する訪問活動を通じて、顔のみえる関係作りを行いました。
- ・ 近隣の医療機関とのカンファレンス(=会議)に参加し、退院前のサポートから退院後は、地域で生活し続けられるような支援を行ってきました。
- ・ 地域で行われている高齢者食事会やお茶会など、地域に出向く機会を通じて、制度の普及活動・地域ニーズの把握を行いました。
- ・ サービス担当者会議（区役所との定例カンファレンス）に、困難事例等で対応に苦慮しているケアマネジャーの相談の場としても活用し、区役所と地域包括支援センター・ケアマネジャーの連携をしてきました。
- ・ 西区ケアマネジャー研究会の役員会や定例会へ出席し、後方支援を行いました。その中で、ケアマネジャーと医療との連携についての話を進めました。

キ 介護予防支援業務の取り組みについて（実施体制等）

《職員体制》

- ・ 4月現在は2職種（社会福祉士、主任ケアマネ）体制でしたが、6月からは、看護師が採用され、3職種体制となりました。予防居宅介護支援事業所の予防プランナー1名を補充して、計4名で介護予防支援業務に従事しました。

《目標に対する取組状況》

利用者の自立を支援するようなプラン作成に心がけました。

《実費負担（徴収した項目ごとに記載）》

- ありません

《その他（特徴的な取組、PR等）》

4名とも、ケアマネジャー資格を所持しています。公正中立な立場、細やかな対応を心がけました。

西区役所をはじめ、関係機関との連携体制も整っています。

《利用者実績》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
94	106	104	103	108	110
10月	11月	12月	1月	2月	3月
114	116	113	109	112	111



● 通所介護事業

《提供したサービス内容》

- 通所介護サービスの作成
- 生活指導（相談援助）
- 機能訓練（日常生活動作）
- レクリエーション
- 介護サービス（食事、排泄、介助等）
- 健康状態の確認
- 送迎 給食 入浴

《実費負担（徴収した項目ごとに記載）》

- 1割負担分
 

（経過的要介護）	645 円	（要介護1）	718 円
（要介護2）	837 円	（要介護3）	955 円
（要介護4）	1,074 円	（要介護5）	1,193 円
- 食費負担 500 円
- 入浴負担 53 円

《事業実施日数》 週7日（年末年始[12/29~1/3]を除き、年中無休）

《提供時間》 9:50 ~ 16:10

《職員体制》

- 管理者 1名（常勤兼務）
- 生活相談員 4名（常勤専従1名）（常勤兼務3名）
- 看護職員 3名（常勤専従0名）
- 介護職員 21名（常勤専従2名）（常勤兼務3名）
- 運転業務職員 6名（常勤専従0名）

《目標に対する取組状況》

日頃、外出する機会の少ないご利用者様に健康チェック、入浴、食事、体操、レクリエーションなどを行い、一日楽しく安心、安楽に過ごしていただくと共に、その有する能力に応じ自立した日常生活ができるように、サービスを提供しました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ① 音楽療法の取組み：音楽家の先生を招き、行いました。
- ② 運動機能体操の充実：健康体操をメニュー別にグループ分けをして行いました。また、シルバー体操指導員を招き、行いました。
- ③ 口腔機能体操の実践：毎食前この体操を取入れました。
- ④ 食後の歯ブラシ・義歯洗いの奨励：口腔清潔の啓発を行いました。
- ⑤ 時間延長：17年度よりサービス提供時間を1時間20分延長し、午後のおやつ、歌を取入れていきます。
- ⑥ 食事の改善・充実：
  - a. お客さま満足度調査を実施（年2回）し、その結果を利用者に公表し、サービス改善に努めました。
  - b. 上記調査の「声」を反映させ、給食業者を変更し、食事を一新しました。
- ⑦ レクリエーションの充実：園芸・手工芸の活動を実施し、トマト・きゅうりを収穫・試食しました。また、マフラー編みにも挑戦しました。
- ⑧ プライバシーの尊重、個人情報の保護を徹底：職員のマナー向上のため、講師を招き、非常勤職員も含め、研修に努めました。

《利用者

4月	5月	6月	7月	8月	9月
574	565	513	533	527	490
10月	11月	12月	1月	2月	3月
537	508	553	544	530	590

実績（延べ人数）  
【単位：人】

● 介護予防通所介護事業

《提供したサービス内容》

- 介護予防通所介護サービス計画の作成 ● 健康状態の確認
- 生活指導（相談援助） ● サービス計画に基づいた機能訓練体操
- 送迎・入浴 ● レクリエーション ● 給食

《実費負担（徴収した項目ごとに記載）》

- 1割負担分
  - （要支援1） 2,360円（月額）
  - （要支援2） 4,614円（月額）
- アクティビティー負担 86円（月額）
- 食費負担 500円（一回につき）

《事業実施日数》 週7日（年末年始[12/29～1/3]を除き、年中無休）

《提供時間》 9:50 ～ 16:10

《職員体制》

通所介護事業の全職員が介護予防通所介護事業に兼務しています。

《目標に対する取組状況》

個別のサービス計画書に沿った機能訓練体操をアクティビティーの中で提供し、楽しく生き生きと過ごしていただくとともに、利用者個人の有する能力に応じ、自立できるようにサポートしました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ① 音楽療法の取組み：声楽家の先生を招き、行いました。
- ② 運動機能体操の充実：健康体操をメニュー別にグループ分けをして行いました。また、シルバー体操指導員を招き、行いました。
- ③ 口腔機能体操の実践：毎食前この体操を取入れました。
- ④ 食後の歯ブラシ・義歯洗いの奨励：口腔清潔の啓発を行いました。
- ⑤ 食事の改善・充実：
  - a. お客さま満足度調査を実施（年2回）し、その結果を利用者に公表し、サービス改善に努めました。
  - b. 上記調査の「声」を反映させ、給食業者を変更し、食事を一新しました。
- ⑥ レクリエーションの充実：園芸・手工芸の活動を実施し、トマト・きゅうりを収穫・試食しました。また、マフラー編みにも挑戦しました。
- ⑦ プライバシーの尊重、個人情報の保護を徹底：職員のマナー向上のため、講師を招き、非常勤職員を含め、研修に努めました。

《利用者実績（契約者数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
138	161	157	156	133	152
10月	11月	12月	1月	2月	3月
159	150	144	138	135	154

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

- ・ 管理者… 1名(常勤兼務)
- ・ 介護支援専門員… 1名(常勤専従)

《目標》

- ・ 利用者様一人ひとりの生活のニーズの把握と介護度に応じた適切なサービス計画(ケアプラン)の作成に努めました。
- ・ 利用者様等の信頼関係に基づいた相互関係の中で援助を行いました。
- ・ サービス事業者等と連絡調整を図り、問題解決に向けて取組みました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- ありません

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・ 各種講習会・研修会に積極的に参加し、ケアマネジャーの資質向上に努めました。
- ・ ケアプラン作成後も利用者様・家族様と連絡を取り、相談しながら必要なサービスを提供できるように支援しました。
- ・ 地域ケアプラザの居宅介護支援事業所として、地域包括支援センターと連携し、積極的に支援困難ケースの受入れを行い、必要に応じてすぐサービスを導入し、専門性の高い対応を心がけました。

《利用者実績》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
24	26	26	26	28	27
10月	11月	12月	1月	2月	3月
27	26	26	28	28	28

<以上>

# 平成19年度自主事業報告書

## 横浜市宮崎地域ケアプラザ

### ・ 定期事業

### 地域活動交流事業

NO. 1

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
高齢者支援事業 ミニデイ 「しあわせ サロン宮崎」	目的：65歳以上の一人暮らし、75歳以上の高齢者夫婦世帯の方で自力で会場まで来られる方を対象にした、見守り・交流の場を目的とした会食会。	毎月第2・3水曜日 11:00～14:00 18回開催

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
子育て支援事業 わくわく親子プラザ	目的：未就園の乳幼児の親子を対象。子育てしていく中でのお母さん同士のコミュニケーションや子育ての支援。	毎月第1月曜日 10:30～12:00 12回開催

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
子育て支援事業 みやぎキッズ	目的：未就学の乳幼児の親子を対象にしたフリースペース。公園などの遊び場の減少・遊び場の安全などの地域の課題を踏まえての開催。 内容：フリースペース、第3月曜日にはお楽しみタイムを設け地域交流職員とのコミュニケーションを図る。	毎月 第1月曜日 13:00～17:00 第3月曜日 10:00～12:30 22回開催

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
障がい者支援事業 地域支援事業 パソコンサロン	目的：障がい者(種別なし)と地域の方の交流の場であり、地域の拠点として様々な方が集う場の提供。 開催内容：西区の障がい者作業所に協力をしていただき、運営をお願いする。	7月より毎週土曜日 10:00～17:00 障がい者講師は 第1土曜日 10:00～12:00に 堂駐

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
地域支援事業 まもり隊事務局	目的：子どもの見守り・町内の防犯を目的とした下校、防犯パトロール隊。 活動内容：各町内会の活動把握や行政(警察・消防署・区)との連絡調整。	見守り・防犯活動は町内会単位でほぼ毎日活動連絡調整随時情報紙、3小学校分毎月発行。

# 平成19年度自主事業報告書

## 横浜市宮崎地域ケアプラザ

### ・ 定期事業

### 地域包括支援センター事業

NO. 1

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
介護者のつどい	<p>目的：介護者の情報交換や憩い、リフレッシュの場</p> <p>内容：茶話会や介護に関する勉強会、施設見学。また、レクリエーションとして、外出や物作り等を行っている。</p>	<p>原則：毎月7日 11回開催</p> <p>4月は「あけぼの会・総会」参加のため除く。</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
転倒骨折予防 継続教室 =OB会  いきいき宮崎 ゆうゆう宮崎	西区シルバー体操指導員の協力のもと、転倒骨折予防（基本）教室の卒業生を中心にシルバー体操の実施	いきいき宮崎： 第1、第3火曜日 23回 ゆうゆう宮崎： 第2、第4月曜日 24回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
出張健康講座	地域で行われる「ふれあい会」や「体操教室」等の場に向き、介護予防や健康増進のミニ講座を開催	適宜： 19年度は20回実施

# 横浜市宮崎地域ケアプラザ

## ・単発事業（共催事業含む）

NO. 2

	事業名	目的・内容等	実施時期・回数
4月	通学路パトロール 「まもり隊」	目的：「地域の子どもは地域住民で守ろう！」を合言葉に、地域住民、自らが主体となり活動していく。 内容：小学生下校時パトロール、町会単位の防犯活動、地域防犯抑止活動他ケアプラザは、事務局として学校との活動調整・まもり隊通信の発行他を行う	4月11日（水） 14：00～ 12月19日（水） 14：20～ 2月1日（金） 11：30～
	①地域コミュニケーション講座 「みんなでうたおう！」	目的：地域のボランティア（民生児童委員・ふれあい会・各地区社協・個人など）を対象の講座と全くケアプラザを知らない方にケアプラザを知っていただくための企画、運営。 内容： ①小学生から高齢者まで地域住民の交流の場 ②歌というカテゴリーで集まった地域住民へ、地域ケアプラザの設置目的・事業等を知っていただく場	4月28日（土） 10：00～12：00
5月 6月	読み聞かせボランティア講座	目的：西区には乳幼児（0～3歳児）向けの読み聞かせボランティアグループがないため、地域住民とボランティアグループを立ち上げる 内容： ①おはなし会とは ②おはなし会の構成の仕方 ③実演	5月24日（木） 6月1日（金） 6月4日（月） 10：00～12：00
	初心者のためのパソコン講座	目的：パソコンを通して障がい者とのコミュニケーションを図る場。また地域の方への啓発・あるいは新しい担い手の発掘の場。 内容：全5回講座導入部分で精神障がい者啓発を行った。基本的なワード・エクセルの指導他	6月2日～6月30日 毎週土曜日 全5回 10：00～12：00
	②地域コミュニケーション講座 「AED操作方法に伴う 心配蘇生法教室」	目的：①と同じ内容。民生・児童委員を中心とした研修 共催機関：西消防署	6月25日（月） 19：00～21：00
7月	③地域コミュニケーション講座 「歌舞伎鑑賞と 昼食のお誘い」	目的：①と同じ内容：7月は全くケアプラザを利用したことのない地域住民向けに地域交流会食会（「ケアプラザって何？」講座開催）と近隣の施設を利用した歌舞伎鑑賞。	7月27日（金） 12：00～17：00
	中学生のボランティア講座 （7月～8月・全5回）	目的：中学生のボランティア活動スタートのきっかけづくり、また地域の新しい担い手としての発掘の場。 内容： 1～3回目は高齢者・障がい者・子育て支援、また、ケアプラザの役割を学ぶ。 4回目は各関係機関に協力頂きボランティア体験。 5回目は活動報告・交流会。協働団体：Boy'sキッチンワーカーズ	7月24日（火） 7月25日（水） 7月26日（木） 10：00～12：00 7月30日～10日 うち1日体験 8月20日（月）
	障がい者啓発講座	目的：障がいのある方自身の「地域の中には障がいのある人も一緒に暮らしていることを知ってもらいたい」「地域の中で私たちにできることはないのか」との声から中学生との交流を主とした会を開催。 内容：地域に住む中学生との交流・啓発を行う。	7月24日（火） 10：30～12：30
8月	障がい児余暇支援活動	区社協との共催。障がい児家庭の長い休み期間の支援。地域との交流。	7月8日（日） 8月9日（木） 8月10日（金） 8月23日（木）
9月	ワンコイン検診	明るく健康的なまちづくりをめざすことを目的とし日頃の健康づくりへの関心を高めてもらいたく気軽な健康チェックを行える機会	9月12日（水） 9月19日（水） 10：00～11：30

# 横浜市宮崎地域ケアプラザ

## ・単発事業（共催事業含む）

NO. 2

	事業名	目的・内容等	実施時期・回数
10月	第8回宮崎まつり	目的：「地域の全ての方に、横浜市宮崎地域ケアプラザがどんなところか、どういったサービスがあるのか知っていただき、気軽に利用していただく」をテーマに地域住民の交流の場や地区社協と共催することで繋がりを深めていく。また、地域住民へのケアプラザ啓発。	10月13日（土） 11:00～14:00
11月	地域包括医療連携講演会	医療法人明和会 亀田病院院長 亀田 正 先生を招き、ケアマネジャー対象の講演会・意見交換会を実施	11月12日（火） 17:30～18:30
	お父さんの わくわく親子プラザ	目的：未就園児の父子を対象にした、親子のコミュニケーション方法を学ぶ。内容：体を動かすコミュニケーション（親子体操・リズム遊び・手遊び）を中心に学ぶ。	11月17日（土） 10:30～12:30
	健康な体と心を維持して いくために 「癒しの フラダンス講座」	目的：西区地域保健計画の基本目標2「活気にあふれ、健康なまち」を目指し開催します。 内容： ①健康な体をつくる ②健康な心をつくる ③健康への意識づけ ④地域住民の交流の場 ⑤様々な世代の交流の場 ⑥フラダンス・ウクレレをツールとした自主的な活動 ①～⑥を支援していく。	11月29日（木）～ 3月1日（日） 全6回と 地域福祉活動1回 18:30～20:30
12月	健康な体と心を維持して いくために 「初心者のための ウクレレ講座」	④地域住民の交流の場 ⑤様々な世代の交流の場 ⑥フラダンス・ウクレレをツールとした自主的な活動 ①～⑥を支援していく。	12月6日（木）～ 3月1日（日） 全6回と 地域福祉活動1回 18:30～20:30
1月	西区サブ コーディネーター研修会	目的：西区内のサブコーディネーターのスキルアップ 内容：地域ケアプラザと地域活動交流事業の理解と研修の企画・運営・コーディネート	1月18日（木） 10:00～16:00
	異世代交流サロン 「ふれあい交流会」	目的：地域の高齢者（65歳以上）と幼稚園児のふれあい交流会。顔見知りになるきっかけづくり。 内容：園児と先生で高齢者のために催し物を企画・運営・コーディネート。	1月31日（木） 11:30～13:30
2月	3CP合同開催 「男性のための料理教室 交流会」	目的：3ケアプラザの男性料理教室の充実と男性の居場所づくり 支援内容：3ケアプラザの男性の料理教室メンバーによる会食交流会企画・運営・コーディネート	2月18日（月） 9:00～13:30
	西区版劇団 かもめ座特別公演 「いつまでも ここで暮らしたい」	目的：地域住民へ成年後見制度の啓発内容：成年後見制度寸劇の企画・運営・コーディネート	2月19日（火） 14:00～16:00
3月	地域と貸館利用団体交流会	目的：地域活動団体と貸室利用団体の交流会貸室利用団体の地域活動ボランティアデビュー・活動の場の開拓。地域住民へボランティアコーディネートの啓発。ネットワーク化への支援。 内容：様々な啓発活動の紹介等を行いました。	3月1日（土） 13:30～16:00
	ボランティア交流会	目的：日頃のボランティア活動に感謝の意を職員一同表すと共に、ケアプラザの各事業での様々なボランティア活動があることの紹介やボランティアどうしの情報交換の場、地域とボランティアのコーディネートの場。 内容：地域活動団体や地域の方に、貸室利用団体の活動を知っていただき、地域活動ボランティアへつなげました。	3月26日（水） 13:30～15:30
	認知症講座 ～認知症を学び地域で支えよう～	目的：認知症を知り、地域で認知症本人、家族を支えていく組織作り 啓発内容：キャラバンメイトによる認知症支援講座の企画・運営・コーディネート	3月29日（土） 13:30～15:30

# 平成19年度自主事業収支報告書

地域活動交流事業

事業名	①募集対象	自主事業決算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		委託料	参加費	講師謝金	材料費	その他
高齢者支援事業 しあわせサロン宮崎	70歳以上の一人暮らし・日中独居	531,350	86,900	444,450	11,111	520,239	
	75歳以上の高齢者世帯						
	各30名ずつ 500円他実費						
子育て支援事業 親子わくわくプラザ	未就園親子	72,157	69,857	2,300	25,554	46,603	
	なし 内容により徴収						
子育て支援事業 みやざきッズ	未就学親子	0					
	なし なし						
子育て支援事業 お父さんの わくわく親子プラザ	未就園父子	11,111	11,111		11,111		
	15組 なし						
障がい者支援事業 パソコンサロン	地域住民誰でも	0					
	なし お茶代実費						
障がい者支援事業 パソコン講座	地域住民誰でも	93,260	42,260	51,000	92,000	1,260	
	20名 500円						
障がい者啓発講座	地域住民誰でも	0					
	なし なし						
地域支援事業 まもり隊	地域住民	3,800	3,800			3,800	
	なし なし						
地域コミュニケーション講座 ①みんなであうたおう	全回参加可能な男性	11,111	8,311	2,800	11,111		
	20名 200円						
地域コミュニケーション講座 ①歌舞伎	地域住民全て	33,333	33,333		33,333		
	30名 3,500円						
地域コミュニケーション講座 ②読み聞かせ講座	おはなし会活動に興味のある方	135,354	19,854	115,500		135,354	
	20名 1,500円						
中学生のボランティア講座	区内在住中学生	7,323	7,323			7,323	
	20名 なし						
第8回宮崎まつり	地域住民誰でも	176,042	72,702	103,340		176,042	
	なし なし						
西区サブコーディネーター研修会	サブコーディネーター他	0					
	なし なし						
異世代交流サロン ふれあい交流会	65歳以上の一人暮らし・日中独居	16,580	16,580			16,580	
	75歳以上の高齢者世帯						
地域と貸館利用団体交流会	貸館利用者	14,196	14,196			14,196	
	なし なし						
ボランティア交流会	当CPボランティア	0					
	なし なし						
ウクレレ講座 全6回	地域住民すべて	22,222	10,222	12,000	22,222		
	10名 6000円						
フラダンス講座 全6回	地域住民すべて	51,442	43,442	8,000	22,222	29,220	
	20名 3000円						
		1,179,281	439,891	739,390	228,664	950,617	0

事業ごとに別紙に記載してください。



平成19年度自主事業収支報告書 地域包括支援センター事業

事業名	①募集対象	自主事業決算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		委託料	参加費	講師謝金	材料費	その他
介護者のつどい	介護者とご本人の介護に関心がある方 原則なし・内容により徴収	129,269	105,169	24,100	5,000	124,269	
転倒骨折予防継続教室 いきいき宮崎	転倒骨折予防教室OB 現在13名 月100円/人	51,110	51,110		51,110		
転倒骨折予防継続教室 ゆうゆう宮崎	転倒骨折予防教室OB 現在21名 月100円/人	53,332	53,332		53,332		
出張健康教室	地域住民すべて なし	0					
西区版劇団かもめ座 権利擁護講座	地域住民すべて なし	8,699	8,699			8,699	
ウクレレ講座 全6回	地域住民すべて 33名 6000円	44,444	12,444	32,000	44,444		
フラダンス講座 全6回	地域住民すべて 42名 3000円	44,444	28,444	16,000	44,444		
地域包括医療連携講演会	西区ケアマネジャー なし	27,685	27,685		11,111	16,574	
第8回宮崎まつり	地域住民誰でも なし なし	33,600	33,600			33,600	
		0					
		0					
		0					
		392,583	320,483	72,100	209,441	183,142	0

事業ごとに別紙に記載してください。

# 平成19年度 地域ケアプラザ決算報告書

施設名：横浜市宮崎地域ケアプラザ

(自)平成19年4月 1

(至)平成20年3月31

	科目	地域活動交流	地域包括支援センター		居宅介護支援	通所介護	予防通所介護
			包括的支援	介護予防支援			
収入	指定管理料収入	19,104	22,798				
	介護保険収入			3,552	3,936	88,645	0
	その他	856	90	0	157	1,324	0
	認定調査委託料				137		
	雑収入	856	90		20	1,324	
	経常経費補助金収入						
	<b>収入合計(A)</b>	<b>19,960</b>	<b>22,888</b>	<b>3,552</b>	<b>4,093</b>	<b>89,969</b>	<b>0</b>
支出	人件費	12,471	20,873	2,462	8,126	65,138	
	事務費	1,891	1,276		455	9,906	
	事業費	1,323	355	255	27	11,864	
	管理費	5,140	1,467				
	その他	624	913	0	0	65,191	0
	経理区分間繰入金支出					65,060	
	消費税・その他	624				131	
戻入		913					
	<b>支出合計(B)</b>	<b>21,449</b>	<b>24,884</b>	<b>2,717</b>	<b>8,608</b>	<b>152,099</b>	<b>0</b>
	<b>収支 (A) - (B)</b>	<b>-1489</b>	<b>-1996</b>	<b>835</b>	<b>-4515</b>	<b>-62130</b>	<b>0</b>

(単位：千円)